

腎臓内科研修

◇ 研修目標および特徴

検尿異常から腎不全に至るまで、急性慢性腎疾患の診断と治療につき、血液浄化療法を含めその概略を習得する。

将来すすむ専門領域に関わらず、医師として必須の水電解質酸塩基平衡異常の病態把握と管理について研修する。

◇ 研修内容

腎生検の適応と実際の手技、腎生検所見の見方と腎炎の診断、腎炎の薬物治療と生活指導、腎不全の診断と治療、血液透析の適応と管理、腹膜透析の適応と管理、慢性透析患者の合併症の治療、各種血液浄化療法の適応と実際の手技、輸液の製剤選択と実践

◇ 指導スタッフ(卒業年度、認定医、指導医)

山内 淳 (昭和 56 年卒、総合内科専門医、内科指導医、腎臓専門医、
腎臓指導医、透析専門医、透析指導医)
長門谷克之 (平成 7 年卒、総合内科専門医、内科指導医、腎臓専門医、腎臓指導医、
透析専門医、透析指導医、血漿交換療法専門医)
森 大輔 (平成 20 年卒、総合内科専門医、内科指導医、腎臓専門医、透析専門医)
芳賀亮太 (平成 23 年卒、内科認定医、腎臓専門医、透析専門医)
野見洋基 (平成 28 年卒)
玉井慎二郎 (平成 30 年卒)
加戸学 (平成 30 年卒)
並木雄太 (平成 31 年卒)
杉町英香 (平成 30 年卒)

◇ 診療実績 (年間)、診療設備

腎生検 : 56 例、透析新規導入 : 100 例、
透析患者の手術およびインターベンション : 428 例

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	腎臓関連書籍輪読、透析、病棟	腎内回診
火	腎生検、シャント手術	シャント手術
水	透析、病棟	腎内抄読会①、腎生検検討会
木	透析、病棟	
金	透析、病棟	CAPD 外来、透析ミーティング 腎内抄読会②

◇ 専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本腎臓学会、日本透析医学会、日本アフェレシス学会、日本内科学会教育病院